

【地球温暖化に関する震災後の企業(事業所)の意識・行動調査に関する調査結果(概要)】

排出量取引対象

1 趣旨

- ◎ 計画停電や夏場の電力不足を経験して、変化が現れていると考えられる事業者の意識・行動を把握する。

2 調査の方法

- ①方法 平成24年6月27日 アンケート用紙を郵送で配付⇒郵送で返送
- ②対象 原油換算で1,500kl以上のエネルギーを単独の事業所で使用している企業
- ③配布 633事業所に配布
- ④回答 388事業所から回答(回収率61.3%)(H24.11.30現在)

3 調査結果の概要

- 計画停電や節電の取組を経た現在の温室効果ガス排出量削減の取組に対する考え方についての意見など、大きく6項目について質問。
 - ① 東日本大震災後の計画停電、昨夏の節電に対応した取組が経営に与えた影響
 - ・「社員の省エネ意識が高まった」と回答した企業が3/4以上で最も多かった。
 - ・「省エネに取り組む体制が強化できた」などのプラス意見も5割超あった。
 - ・一方、「生産シフトや輪番休業等で業務の効率が低下した」などのマイナス意見も3割前後あった。
 ⇒ 各社が様々な工夫で電力不足を乗り越えたが、随所に負担がかかっていた実態がわかった。
 - ② PPS(特定規模電気事業者)の利用状況や意向
 - ・「今のところ利用する予定はない」が2/3を占めた。
 - ・一方「既に利用している」と「利用するかどうか検討している」が合わせて2割以上となった。
 - ・また、需要増で電力供給できない、コストメリットが出ない等、利用したくてもできないケースが多いことも判明した。
 - ③ 自家発電設備の導入状況や意向
 - ・「既に導入している」が56%で「今後導入する予定がある」を加えると6割の企業が設置する可能性がある。
 - ・「導入するかどうか検討している」回答も10%近くあり、設置は更に増える可能性がある。
 ⇒ 自家発電機は、災害時に備え非常用に設置する、又はしたい企業が多いことがわかった。
 - ④ 東日本大震災後の計画停電、昨夏の節電が温室効果ガス排出量の取組に与えた影響
 - ・97%の企業が排出量削減の取組に積極的に取り組んでいることが分かった。
 ⇒ 排出量削減と節電・省エネ(コスト削減)の取組とで共通部分が多いことが推測される。
 - ⑤ 計画停電、節電の取組を経た温室効果ガス排出量削減取組の考え方
 - ・「エネルギー使用量の削減は排出量削減の目標達成にもなる」「排出量の削減は企業の社会的責任を果たせる」と考え、削減に取り組むがいずれも7割前後になった。
 - ⑥ 地球温暖化対策計画書制度と目標設定型排出量取引制度が経営に与えた影響
 - ・「書類の作成が煩雑で時間が割かれた」が最も多かった。
 - ・次に「社員の省エネ意識が向上した」「排出量削減に取り組む体制が強化できた」が多かった。
 - ・また、「設備投資の費用が増加した」と「設備の運用改善や省エネ型設備への転換が進み、コストが削減できた」が2割前後あった。

【地球温暖化に関する震災後の企業(事業者)の意識・行動調査に関する調査結果(概要)】

排出量取引対象外

1 趣旨

- ◎ 計画停電や夏場の電力不足を経験して、変化が現れていると考えられる事業者の意識・行動を把握する。

2 調査の方法

- ①方法 平成24年6月27日 アンケート用紙を郵送で配付⇒郵送で返送
- ②対象 i 法人全体で原油換算1,500kl以上のエネルギーを使用している企業
ii 任意で地球温暖化対策計画書を提出している企業
- ③配布 293社に配布
- ④回答 207社から回答(回収率70.6%)(H24.11.30現在)

3 調査結果の概要

- 計画停電や節電の取組を経た現在の温室効果ガス排出量削減の取組に対する考え方についての意見など、大きく4項目について質問。
 - ① 東日本大震災後の計画停電、昨夏の節電に対応した取組が経営に与えた影響
 - ・「社員の省エネ意識が高まった」と回答した企業が8割以上で最も多かった。
 - ・次に「省エネが進み、電気代、燃料費等コスト削減につながった」「省エネに取り組む体制が強化できた」が6割超で多かった。
 - ・「顧客サービスが低下した」「業務の効率が低下した」等のマイナス意見は比較的少なかった。ただし生産シフトで人件費が上昇、看板消灯のため夜間売上が低下したなどの意見もあった。
 - ② 東日本大震災後の計画停電、節電が温室効果ガス排出量削減の取組に与えた影響
 - ・「以前から対策に取り組んでおり、震災後の計画停電、節電をきっかけに一層取り組むようになった」と回答した企業が55%で最も多かった。
 - ・「以前から対策に積極的に取り組んでおり、震災後の計画停電、節電後も同じように取り組んでいる」と回答した企業も1/3を超えた。
 - ③ 計画停電、節電の取組を経た温室効果ガス排出量削減の取組に対する考え方
 - ・「エネルギー使用量の削減は排出量削減の目標達成にもなる」と考え、削減に取り組む」とした回答が3/4近くで最も多かった。
 - ・排出量の削減は「企業の社会的責任(CSR)と考え、削減に取り組む」、取組が「社員の省エネ意識の向上につながると考え、削減に取り組む」も6割超で多かった。
 ⇒ 義務達成(排出量削減)、責任を果たす、意識向上など、実利的なメリット以外の要素のために削減に取り組むとした企業が多かった。
 - ④ 地球温暖化対策計画書制度が経営に与えた影響
 - ・「社員の省エネに対する意識が向上した」が7割弱で最も多かった。
 - ・次に「温室効果ガス排出量の削減に取り組む体制が強化できた」も5割弱となった。
 ⇒ 計画制度のプラス面を評価している意見が比較的多かった。一方で、「書類の作成が煩雑で時間が割かれた」とする意見も3割あった。

【平成24年度 地球温暖化に関する震災後の県民の意識・行動調査(概要)】

1 趣旨

◎ 地球温暖化に関する震災後の県民の意識・行動調査を実施し、ストップ温暖化・埼玉ナビゲーション2050の見直しの際に、施策間の優先順位を判断する材料として活用する。

2 調査の方法

- ①調査地域 埼玉県内6市(川越市、川口市、所沢市、加須市、本庄市、三郷市)
- ②調査対象 満20歳以上の男女個人
- ③標本数 3,000(上記6市から500ずつ)
- ④抽出方法 住民基本台帳による無作為抽出
- ⑤調査方法 郵送による書類調査
- ⑥調査時期 平成24年7～9月

3 回収結果

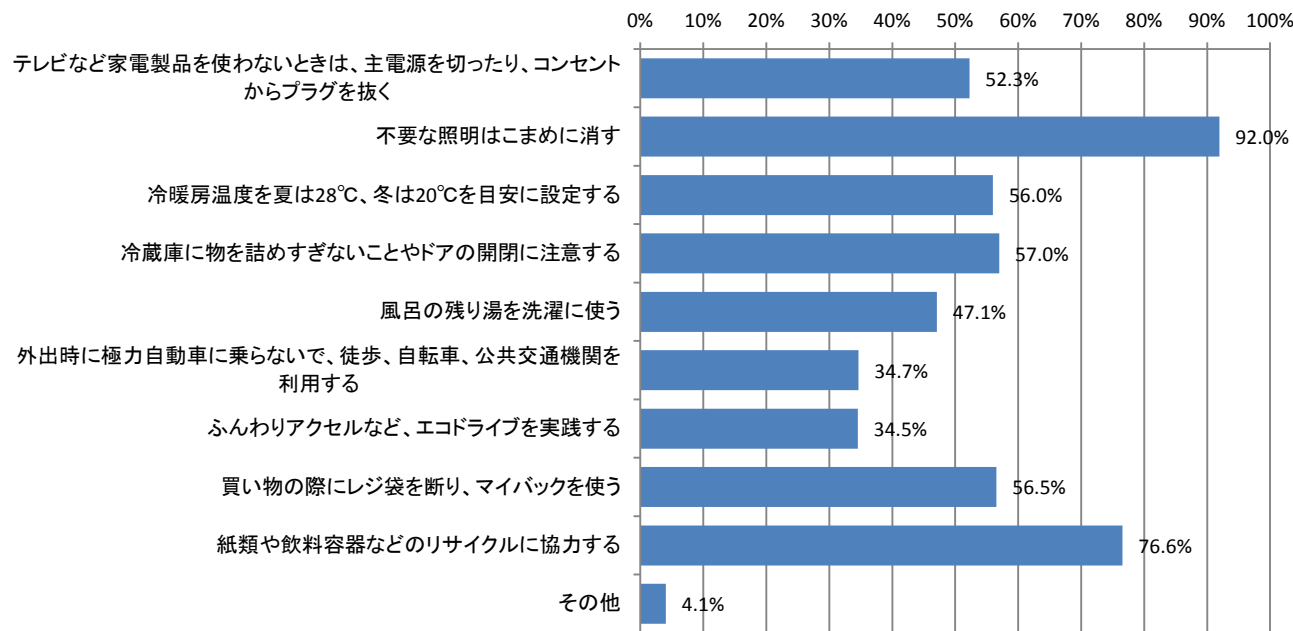
- ①標本数 3,000
- ②有効回収数 909
- ③調査不能数 2,091
- ④有効回収率 30.3%

4 主な質問項目

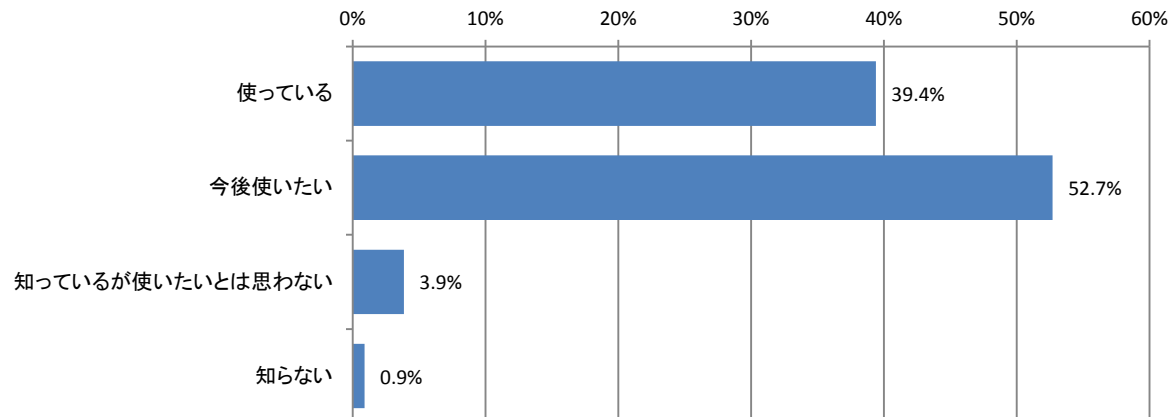
- ①省エネの取組状況、②LED照明の導入意向、③省エネ家電の導入意向、④高効率給湯器の導入意向、⑤建物の断熱化の意向、⑥グリーンエネルギー自動車の導入意向、⑦太陽光発電の導入意向、⑧エアコン買い換えタイミングの考え、⑨住宅の断熱化のタイミングの考え、⑩地球温暖化対策の考え、⑪省エネへの関心、⑫節電・省エネ意識の変化、⑬温暖化対策で取り組むべき対策の考え、⑭夜型生活の考え

【省エネの取組や省エネ型の製品・設備の利用状況等について】

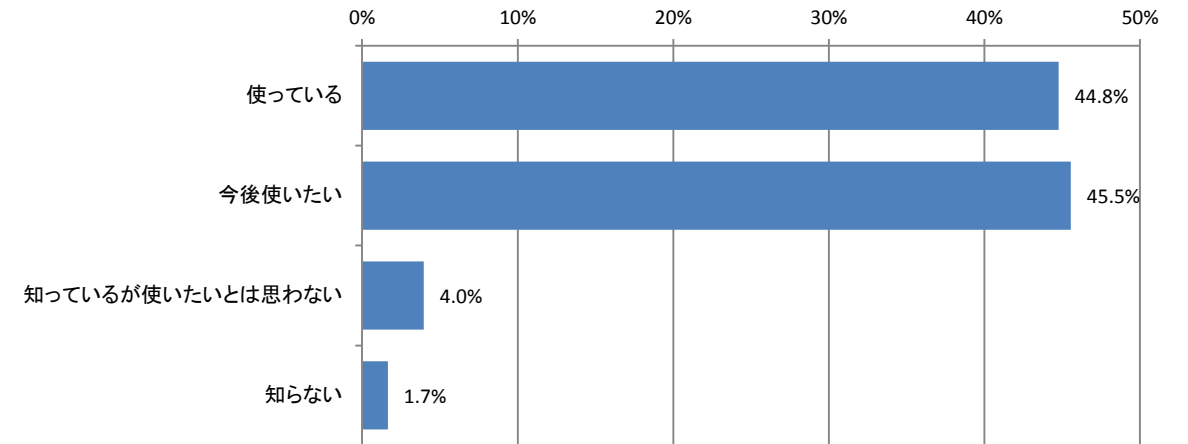
G1: 省エネの取組について、現在取り組んでいるもの(複数回答)n=909



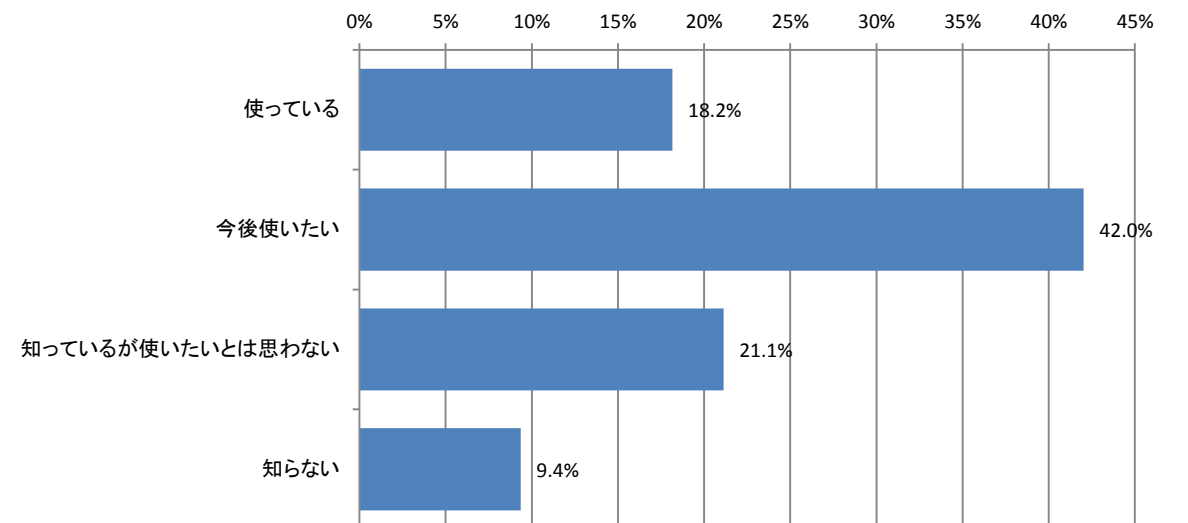
G2: LED照明n=909



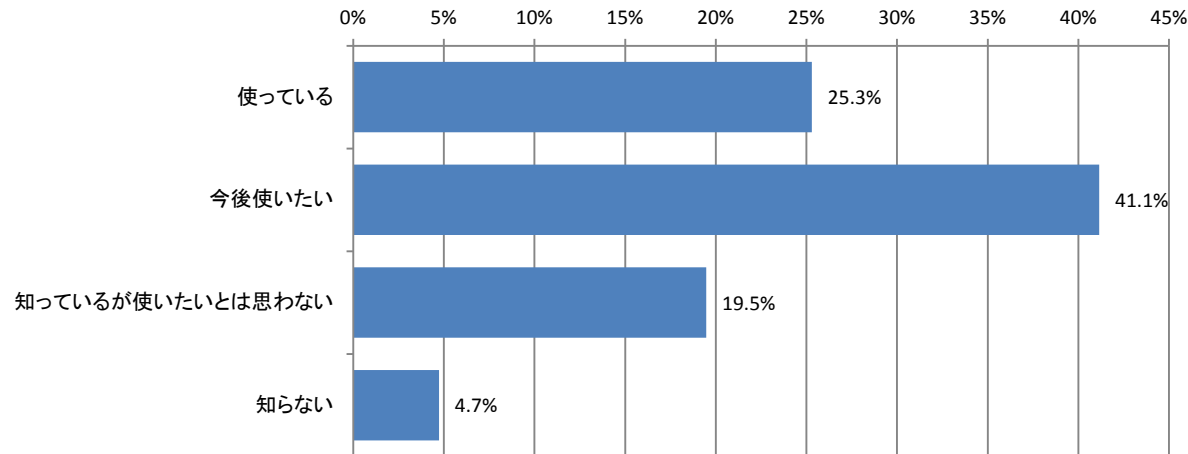
G5: 省エネルギー性能の高いエアコン、冷蔵庫、テレビn=909



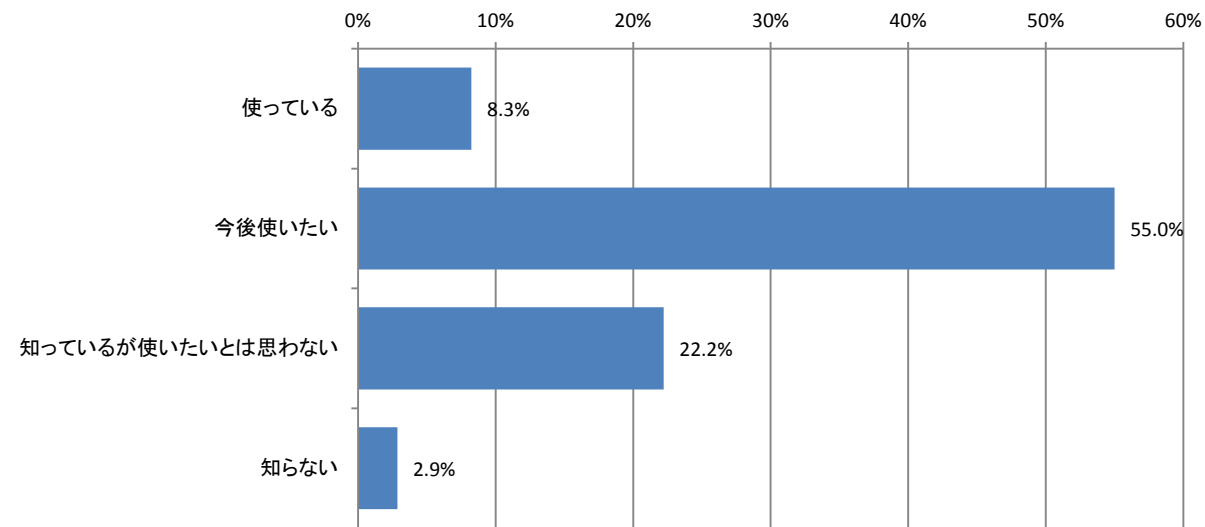
G9: 効率の高い給湯器(エコキュート、エコジョーズ等)n=909



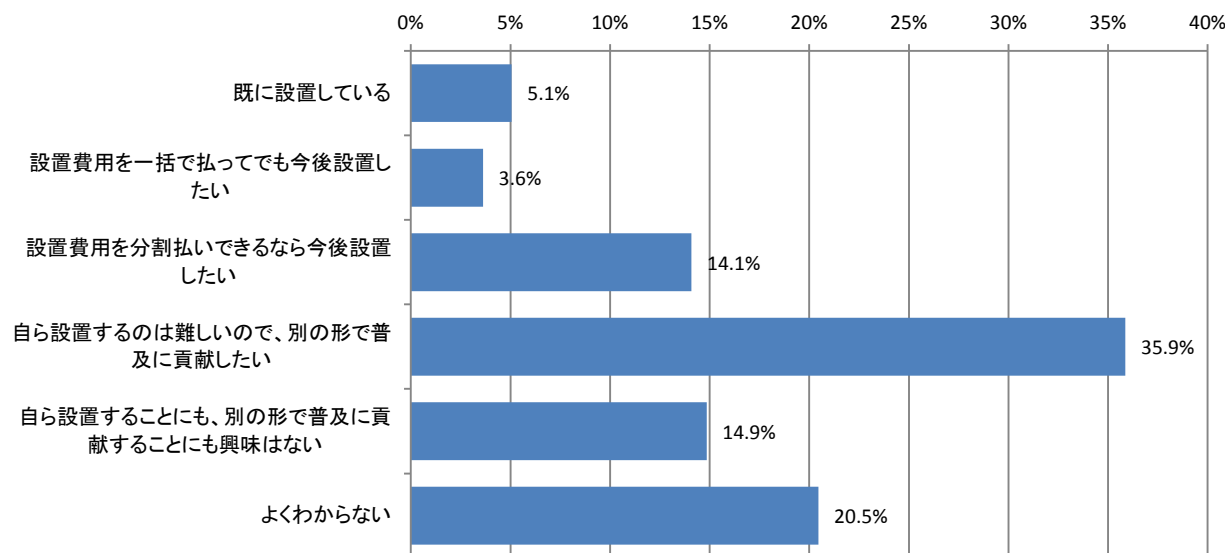
G13: 建物の断熱化(二重ガラス、断熱壁等)n=909



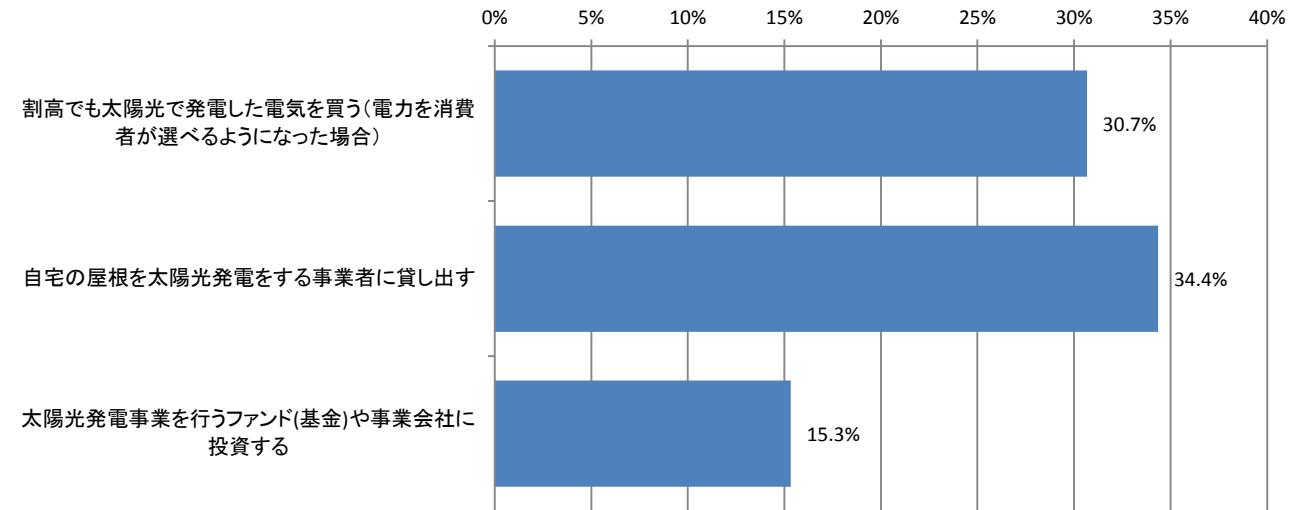
G17: クリーンエネルギー自動車(EV、HV、CNG車)n=909



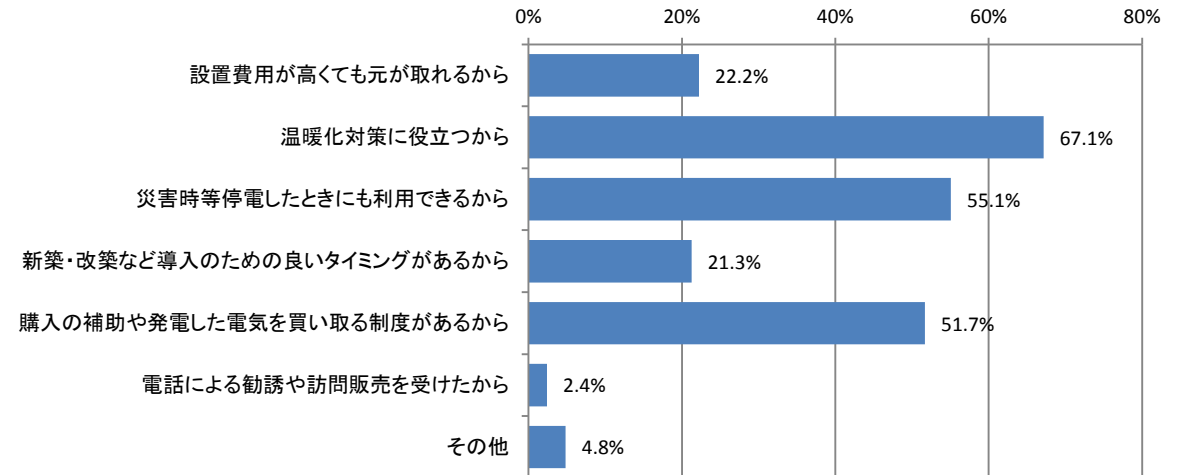
G20: 家庭での太陽光発電の利用についての考えn=909



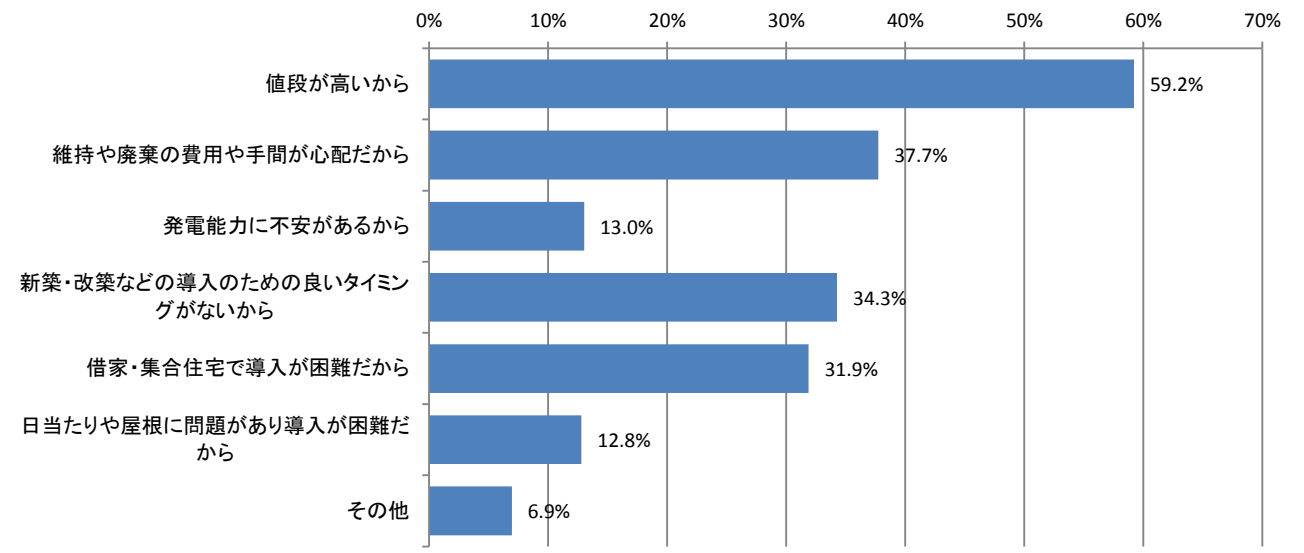
G24: 自ら設置しないが普及に貢献したい人の考えn=326



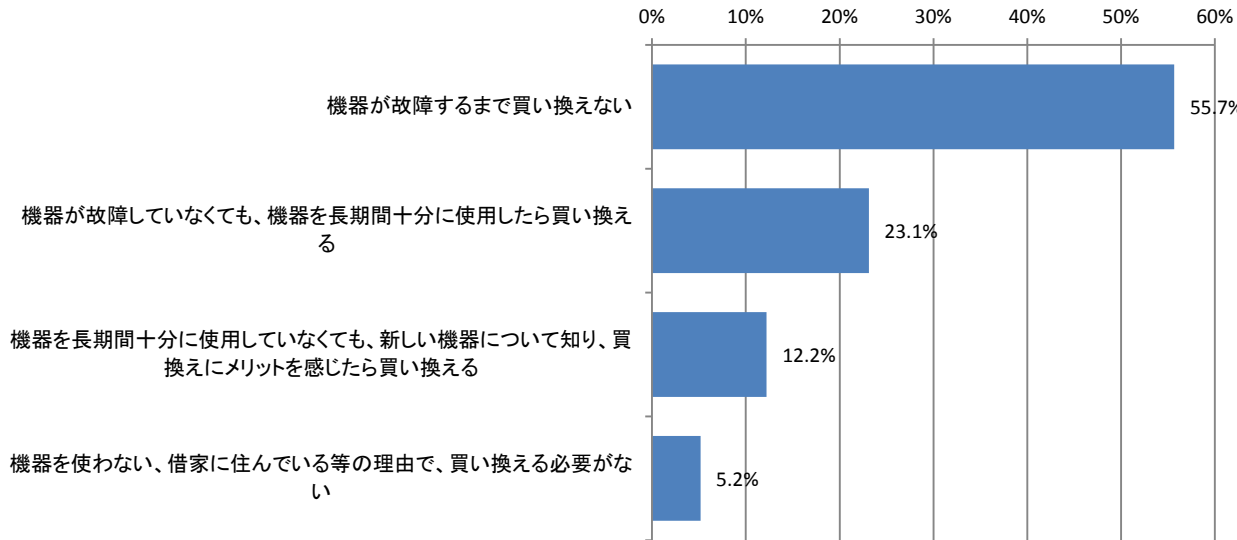
G27: 設備を設置した又は今後設置したい理由(複数回答)n=207



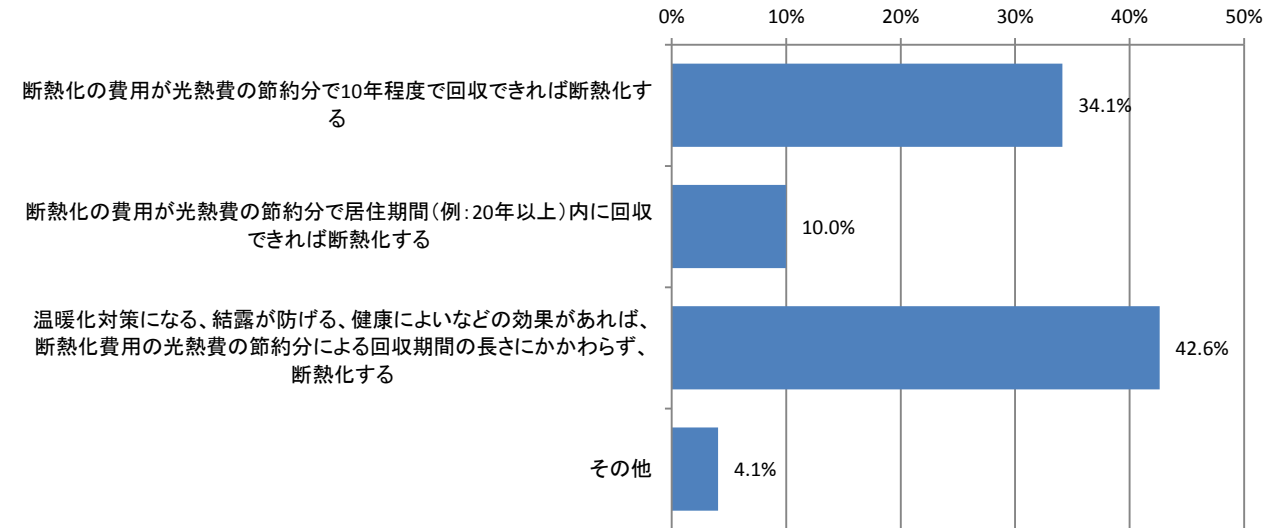
G29: 自ら設置が難しい又は興味のない理由(複数回答)n=461



G31: どのタイミングでエアコンを買い換えるか n=909

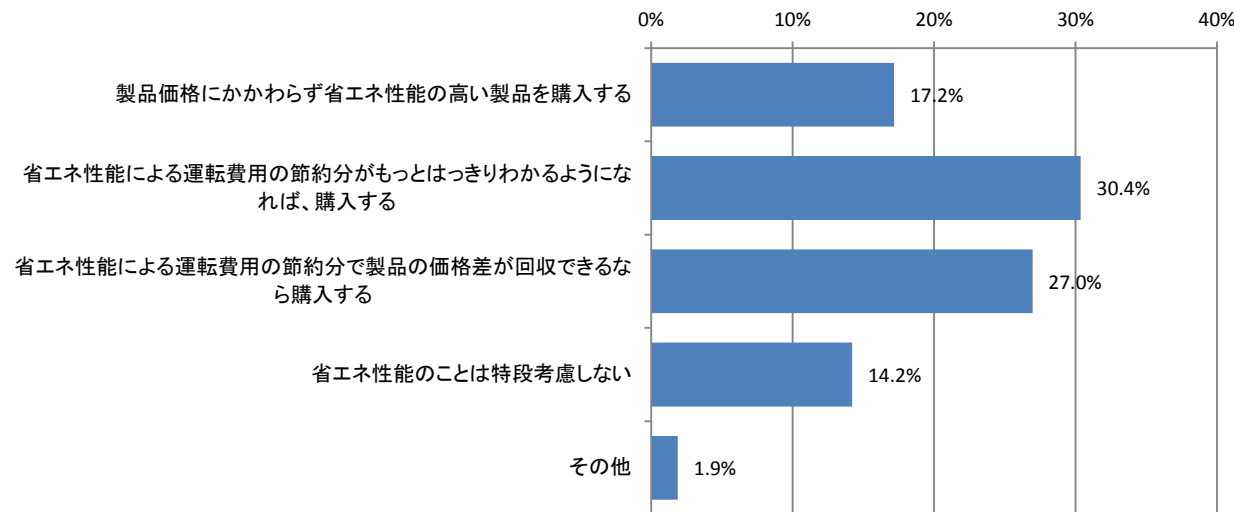


G41: 住宅の断熱化をする条件 n=542

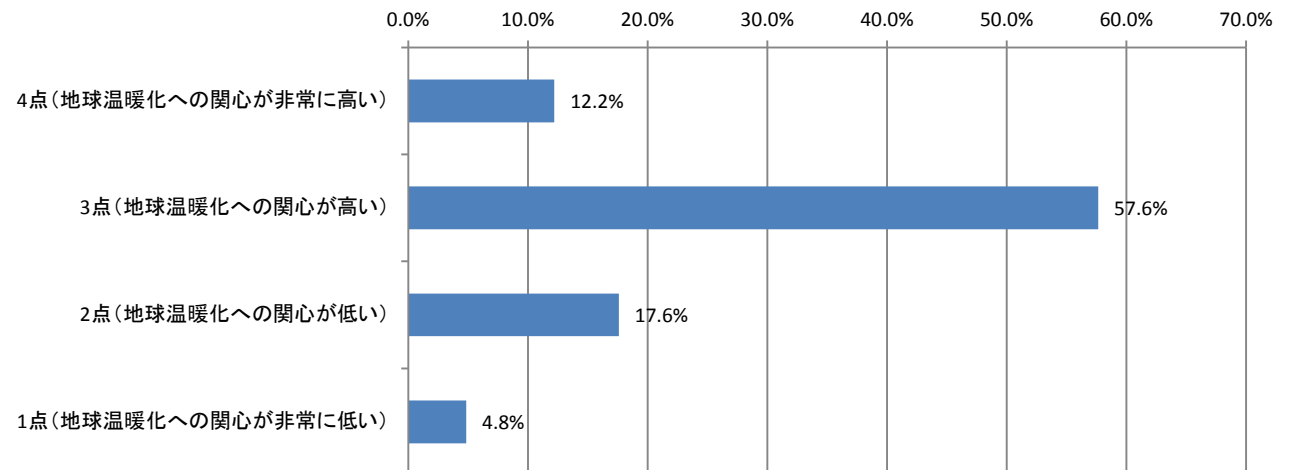


【地球温暖化問題やエネルギー使用量に対するお考えについて】

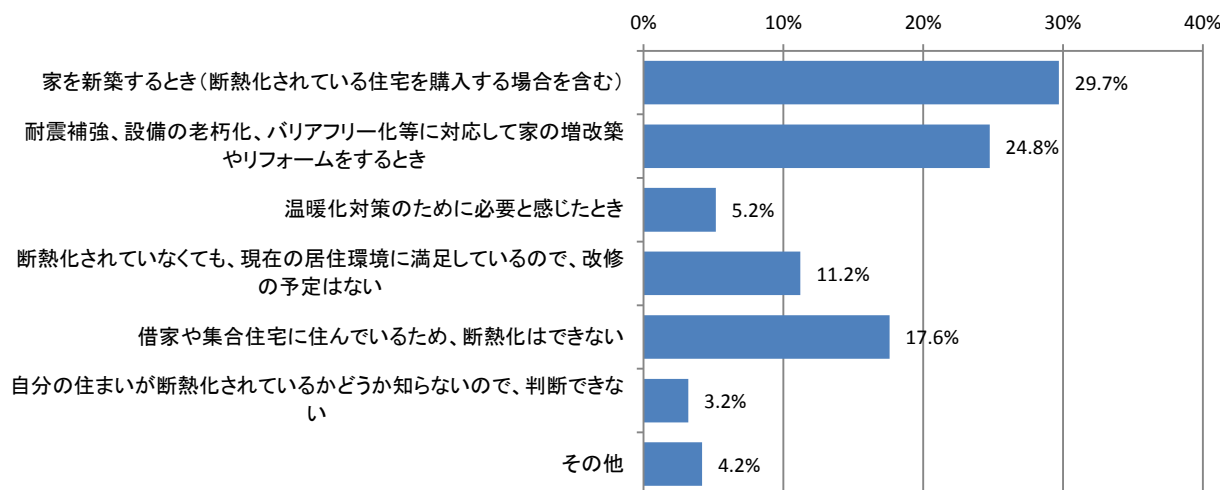
G34: エアコンはどの場合に省エネ型製品を選ぶか n=909



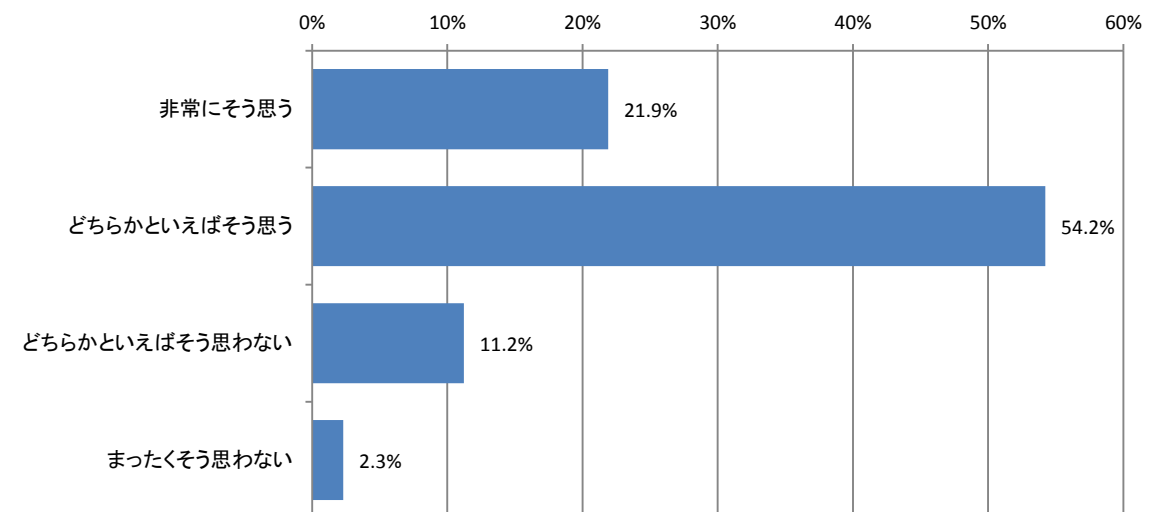
G43: 地球温暖化の考え方に対する態度 n=909



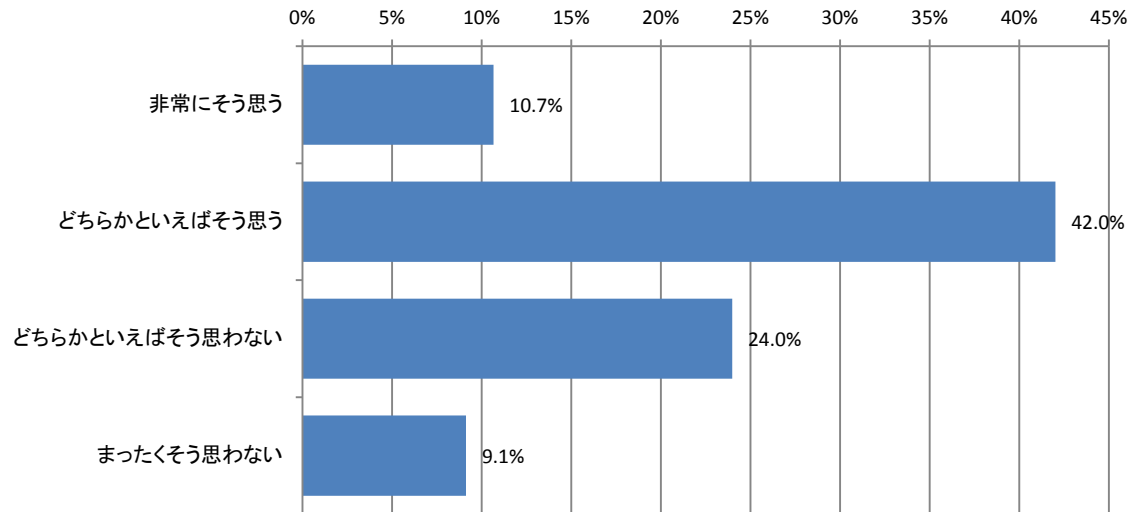
G38: どのタイミングで住宅を断熱化するか n=909



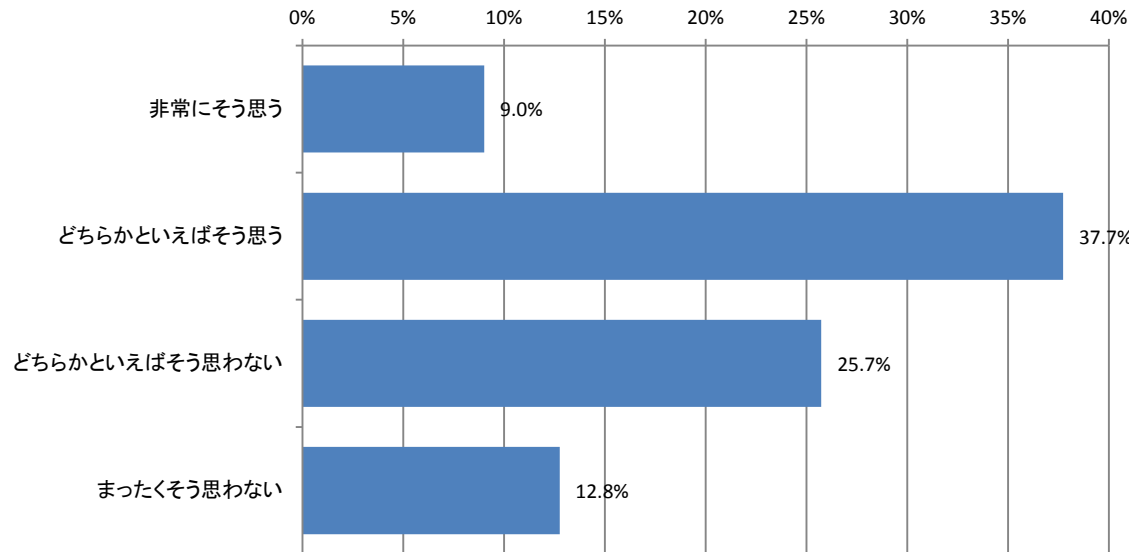
G44: 私の行動が地球温暖化防止につながる n=909



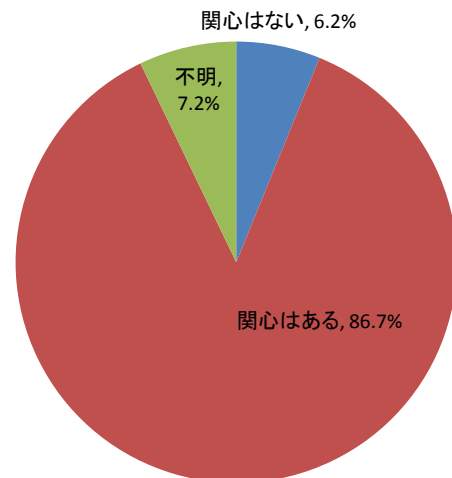
G45: 私の地球温暖化への影響は非常に小さいn=909



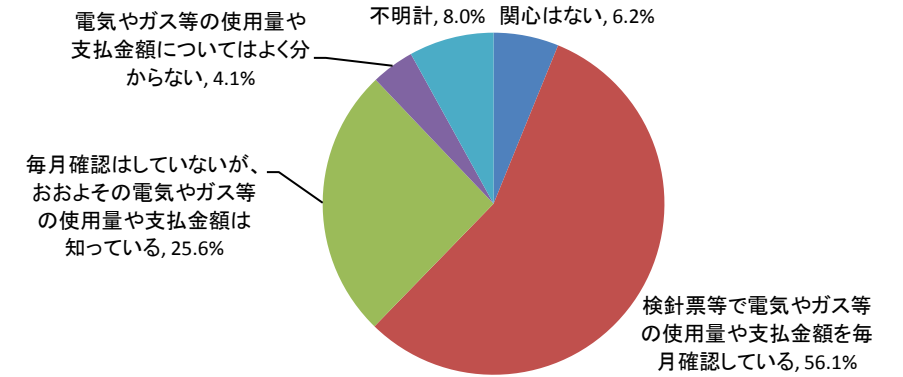
G46: 温暖化防止のため何をしたいかわからないn=909



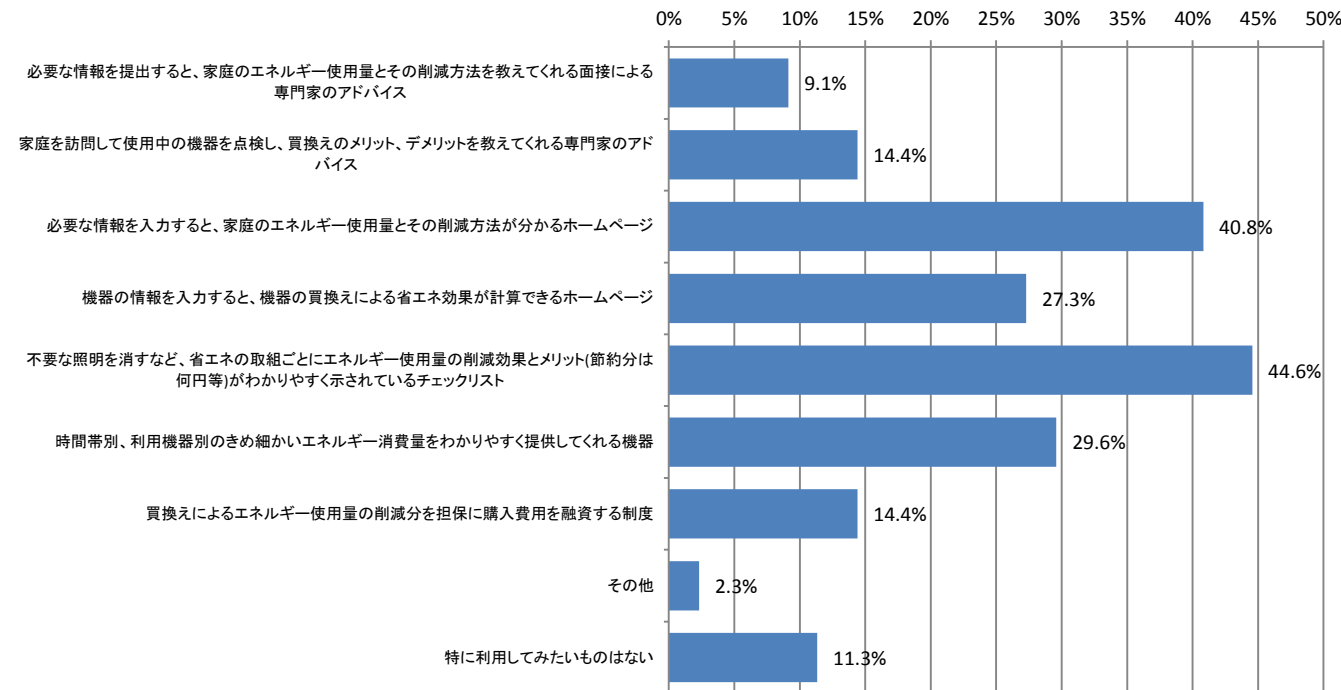
G47: 自宅のエネルギー使用量を減らすことへの関心n=909



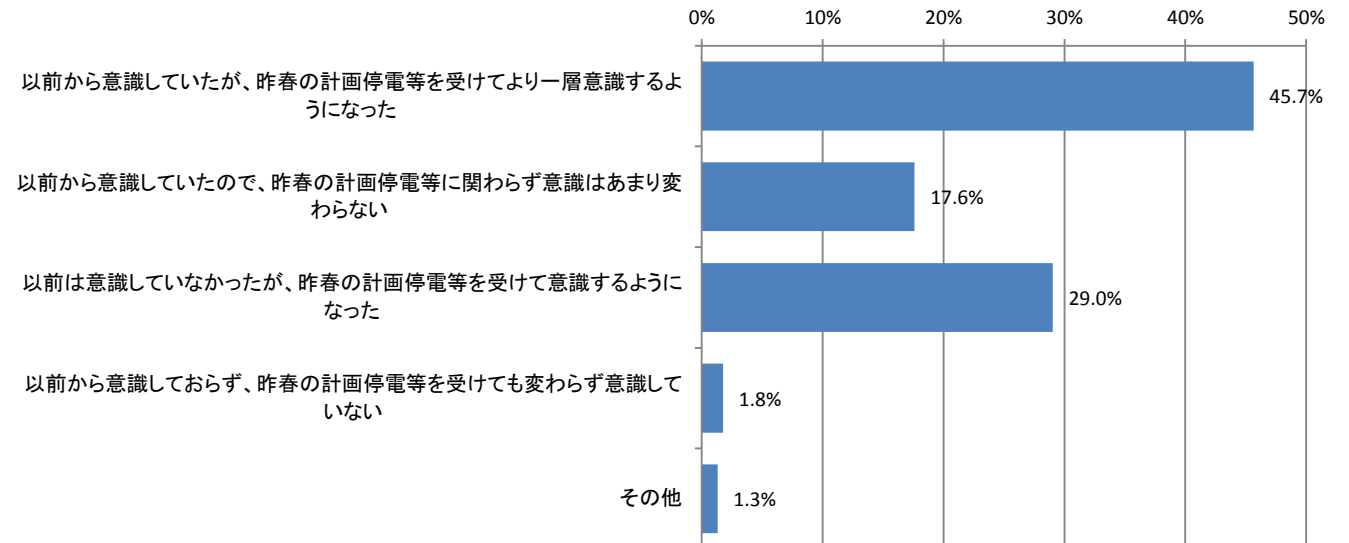
G48: 全体の中での減らすことに関心があると答えた人の状況n=909



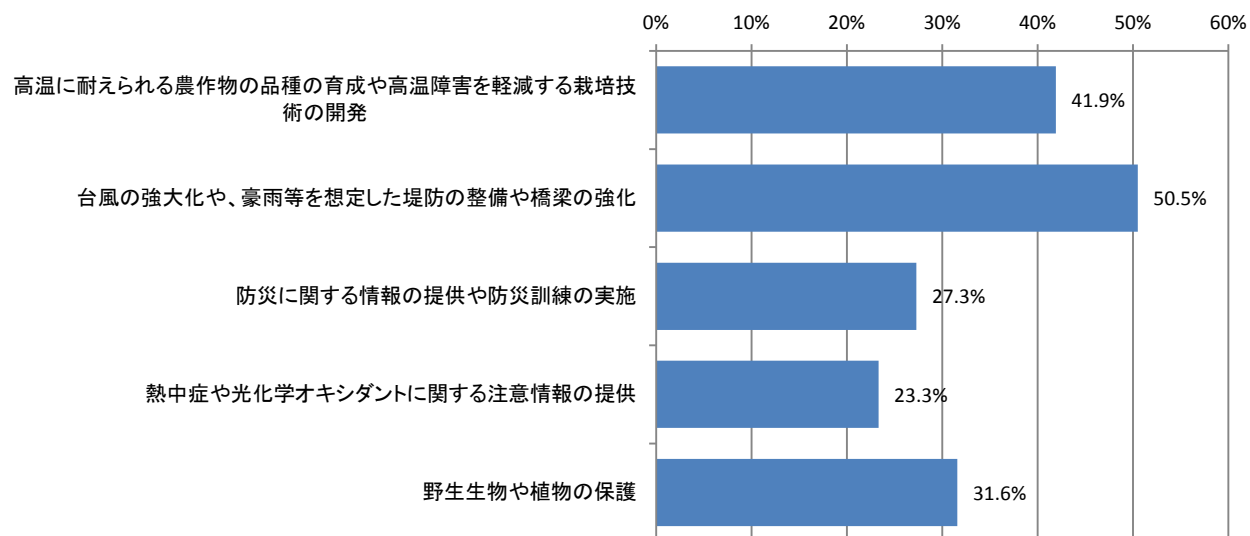
G49: エネルギー使用量の削減のため、利用してみたいサービスや機器(複数回答)n=909



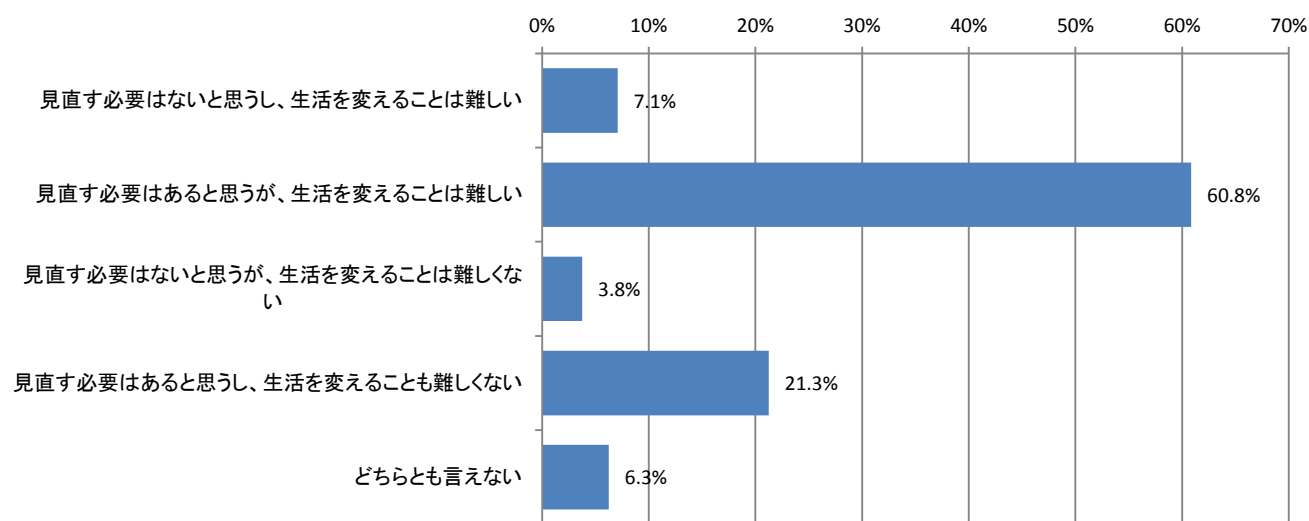
G52: 計画停電等で節電や省エネ意識は変わったかn=909



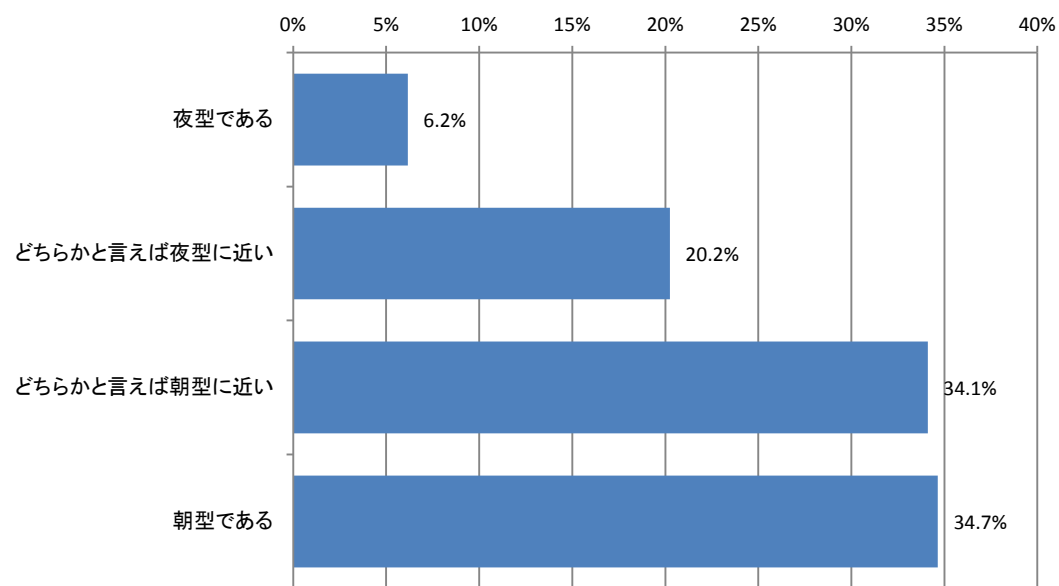
G54: 温暖化対策として取り組むべき対策で重要なもの(複数回答)n=909



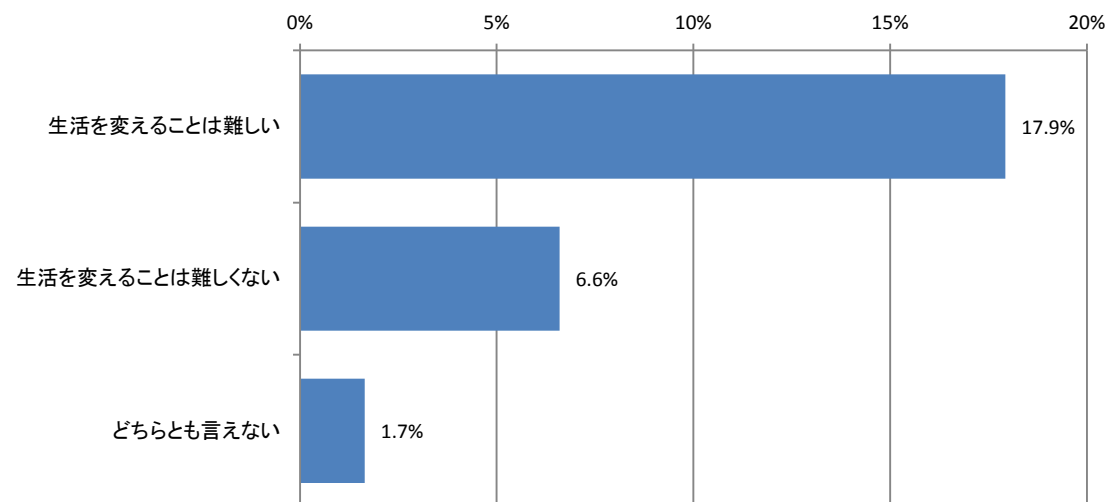
G60: 夜型生活の見直しについての考えn=240(分母:生活が夜型と回答した人)



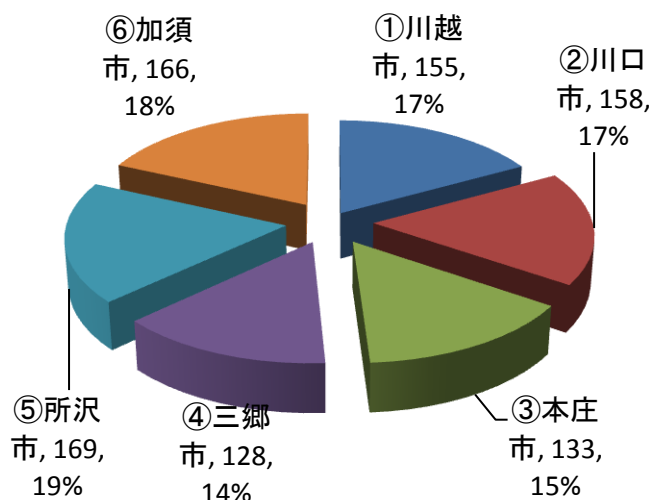
G57: あなたの生活は夜型かn=909



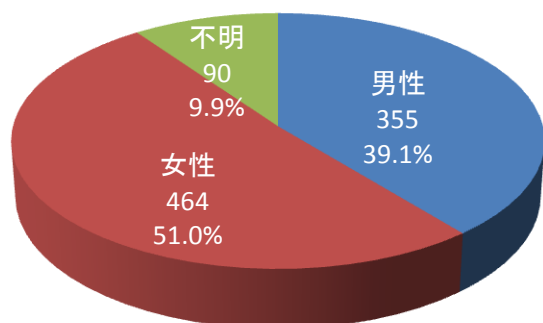
G61: 夜型生活の見直しについての考えn=909(分母:全回答者数)



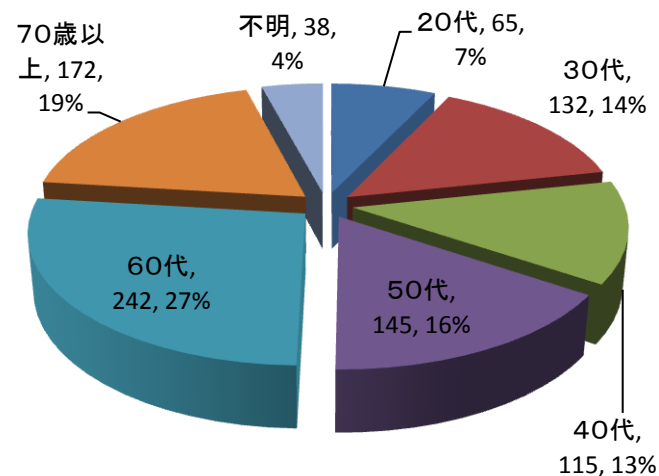
回答者の地域別内訳n=909



回答者の性別内訳n=909



回答者の年代別内訳n=909



回答者の住まい別内訳n=909

